



中央区環境情報誌



中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

環境情報センターって どんなところ?

環境情報センターで
楽しく環境について
学んでみませんか

6月号でもすでにお伝えしましたが、環境情報センターが今年6月京橋三丁目目オープンしました。環境情報センターは、さまざまな環境問題に関する情報を発信するとともに、区民・事業者・区が連携して環境活動の輪を広げるために作られた施設です。

どなたでも利用できる展示情報コーナーには、タッチパネルで江戸時代から現代、そして未来に続くさまざまな環境活動を学ぶことができます。

また、集会施設として利用できる研修室(有料・要予約)や、環境活動登録団体の交流の場として利用できる交流室などもご用意しております。11月現在、既に15団体が団体登録を行い、活動の場として利用しています。

みなさんも環境情報センターで楽しく環境について学んでみませんか。



楽しいイベント開催中!

環境情報センターでは、環境に関するさまざまなイベントを実施しています。

これまでに、里山や水辺の環境などをテーマにした講座をはじめ、ペットボトル温度計づくり、浜離宮での屋外学習など、魅力的なイベントを多数実施しています。

今後も楽しいイベントが盛りだくさん!ぜひみなさんもご参加ください。

※イベント詳細は、環境情報センターホームページをご覧ください。電話でお問合せください。

●問合せ先
環境情報センター
TEL 03(6225)2433
HP <http://eic-chuo.jp>

環境情報センター 平成26年1月~3月 イベント一覧

日時	タイトル	内容	講師	対象	定員
1月26日(日) 午後2時~3時30分	日本の空を見てみよう	気象予報士が、天気や四季の移り変わり、異常気象などについて分かりやすく説明します。	大島 正幸	どなたでも	先着20名
2月2日(日) 午後2時~3時30分	都会の身近な鳥たちの暮らし	都会のスズメやツバメについて野鳥を研究する専門家が楽しく鳥の暮らしについて話します。	柴田 佳秀	どなたでも	先着20名
2月9日(日) 午後2時~3時30分	漁師の目から見た東京湾	昔と比べて環境が良くなりつつある東京湾。東京湾の漁師が、漁やのり養殖などの実体験を交えながら、東京湾の環境について話します。	金萬 智男	どなたでも	先着20名
2月15日(土) 午前10時~正午	中央区環境団体の環境活動発表会	環境情報センターに登録している環境団体の活動の発表会です。	—	どなたでも	90名程度 申込不要
3月2日(日) 午後2時~3時30分	宇宙への招待 ~宇宙の成り立ちと青い地球~	宇宙の構成と地球の環境について、映像と音楽を融合させて、宙先(そらさき)案内人が楽しく解説します。	高橋 真理子	どなたでも	先着20名
3月23日(日) 午前10時~午後4時	上達!自然観察とデジカメ撮影	デジカメで動植物や自然風景をうまく撮影するコツを、自然写真専門のプロカメラマンが教えるデジカメ撮影上達講座	未定	区内在住・在学・在勤者 ※当日デジタルカメラを持参できる方に限ります。	先着20名

●1~2月の講座の申込みは、1月4日(土)午前9時、3月の講座は2月1日(土)午前9時から受付開始です。(申込不要のものを除く) ●申込み先 環境情報センター TEL 03-6225-2433

環境情報センターを活用中!

中央区環境保全ネットワーク
代表 伊藤美智子さん

東京スクエアガーデン6階京橋環境ステーションにある環境情報センターは、今年6月の開設以来、環境活動の拠点として多くの団体や個人の皆様にご利用いただいています。本誌4面でも紹介している「子どもとためす環境まつり」を主催した中央区環境保全ネットワークも、利用団体のひとつ。環境情報センターの活用方法や環境活動への思いを、代表の伊藤美智子さんにかがいました。

他団体との交流の場として

「環境保全ネットワークの活動モットーは『楽しく、ためになる、助け合い』。楽しさを感じられる活動を、人のため、そして自分のために役立つ活動を行うことを目指しています。できる人が、できる時に、できることをするというのが基本ですから、みんなで助け合っていこうと考えているのです。」と語る伊藤さん。こうした活動指針を、リデュース、リユース、リサイクルの頭文字を取った「3R」にちなんで、伊藤さんは「3T」(楽しく、ためになる、助け合い)とアピールしています。

「中央区には『地元環境のために何かをしたい』という熱い気持ちの方々がたくさんいます。しかし残念ながら、お互いの活動内容はよく知りません。この環境情報センターは、そうした団体間の交流拠点にもなれるはず。同じ志を持つ仲間とコラボして活動の幅を広げたい。そのためには有効活用していきたいですね。」と抱負を語ってくれました。



中央区の森 ニュース!



▲中央区の森親子自然体験ツアーの様子

平成25年7月27日(土)、区内の小学生と保護者を対象に「中央区の森親子自然体験ツアー」を開催し、親子計32名が檜原村で自然体験を行いました。午前中に檜原村教育の森で川遊びを行い、午後は中央区の森(数馬地区)において間伐作業の見学や間伐材の丸太切り体験を行

中央区の森親子自然体験ツアーを開催しました!

森林は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収する大切な役割を持っています。その森林を荒廃から守り育てるために、中央区では、平成18年度より、東京都西多摩郡檜原村にある森林を、地球温暖化防止対策として活用した「中央区の森」事業を開始しました。「中央区の森」事業は、檜原村数馬地区の3.5haという規模から始まり、現在では檜原村南郷地区を合わせた2地区、42.3haに広がりました。南郷地区では、手入れのされていない人工林を自然豊かな広葉樹林へ復元することを目指して、平成24年度から森林保全活動を行っています。



▲大羽根山山頂



▲炭焼き小屋

中央区の森(数馬地区)は登山道に接しており、ハイキングコースが整備されています。豊かな自然ならではの動植物やぬた場(動物の水場)、炭焼き小屋を見ることが出来ます。周辺に

中央区の森に行ってみよう!

「川の水が冷たい!」「生き物がいっぱいいた!」「子どもと一緒に自然体験ができ、良い思い出となった。」などの感想をいただきました。



交通のご案内
JR中央線快速 JR五日市線 西東京バス
東京駅 約1時間半 武蔵五日市駅 約33分 下川駅 約15分 浅間尾根登山口
JR五日市線「武蔵五日市」駅より 西東京バス数馬行き 中央区の森(南郷)「下川」下車 徒歩約10分 中央区の森(数馬)「浅間尾根登山口」下車すぐ

▲中央区の森(数馬地区)ハイキングマップ・交通案内

●問合せ先
環境推進課 環境活動係
☎(3546)5654

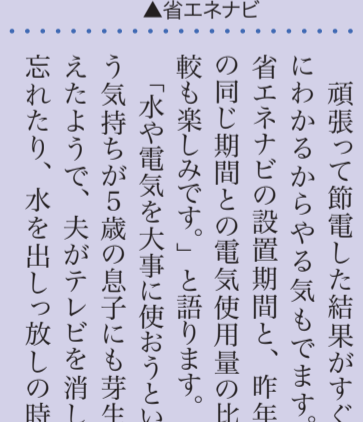


▲ガイドマップ配布中!

中央区では「中央区の森親子自然体験ツアー」のほか年に2回、区民や在学者・在勤者向けに「中央区の森体験ツアー」を開催しており、間伐等の森林保全活動を体験することが出来ます。皆さんのご参加をお待ちしております。

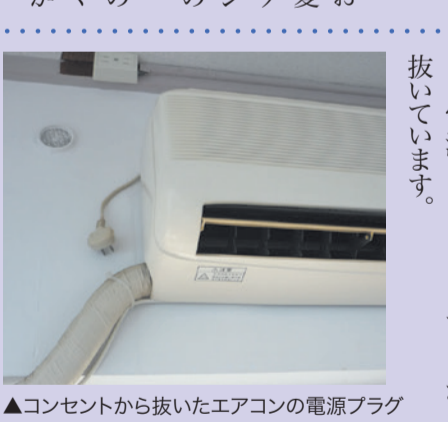
は温泉施設や龍神の滝がありますので、ハイキングに出かけ大羽根山山頂(992m)からの景色を望み、温泉で汗を流すなどの楽しみ方が出来ます。また、散策ルートなどの情報が盛りだくさんのガイドマップを区役所7階窓口で配布しているほか、ホームページからもダウンロード出来ます。春が来たらガイドマップを手元に「中央区の森」へ出かけてみませんか?

電気料金も気になってきたところ、中央エコアクトを知り、日常生活の中で、節電や省エネに取り組



▲省エネナビ

隅田川に面したマンションにお住まいの吉田理都子さんは、夏休みの子ども向けワークショップに参加しようとして環境情報センターを訪れた際、省エネナビの活用に関心を抱いたと言います。「うちは日当たりが良く、川面の照り返しも強いので部屋が暑くなりすぎて、夏はエアコンが効かないくらい。電気料金も気になってきたところ、中央エコアクトを知り、日常生活の中で、節電や省エネに取り組



▲コンセントから抜いたエアコンの電源プラグ

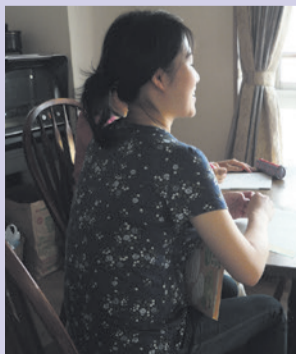
区では、中央エコアクト家庭用に参加する区民の方を対象に省エネナビを2か月間、無料で貸し出しています。省エネナビとは、家庭の分電盤に測定器を取り付けるだけで、現在の電気使用量やCO2排出量を常に確認することが出来る機器です。

「おかげでこの夏は、キッチンが高温にならないよう、電子レンジや炊飯器を活用してガスの使用を抑えたり、日中に洗濯物の水蒸気が室内に流れ込み、湿度があがってしまわないように、夕方に洗濯物を干したりして、エアコンの使用を抑えることが出来ました。気温も下がってきてからは、電源プラグもコンセントから抜いています。」

頑張つて節電した結果がすぐわかるからやる気もです。省エネナビの設置期間と、昨年の同じ期間との電気使用量の比較も楽しみです。」と語ります。「水や電気を大事に使おうという気持ちがある息子にも芽生えたようで、夫がテレビを消し忘れたり、水を出しっぱなしの時

にはちゃんと注意しているんですよ。」
日々の小さな心がけが省エネ生活への第一歩

●問合せ先 環境推進課
温暖化対策推進係
☎(3546)5406



他にも、省エネにつながる工夫を試みている吉田さん。「中央エコアクトのデイリーチェック表に「産地の近いものを買う」という項目がありますが、それに加えて「旬の物を食べよう」と心がけるようになりました。ハウス栽培や流通にかかるコストを考えると、たとえば冬に無理して夏野菜を摂らなくてもいいんじゃないか、身近な旬の食材をおいしく食べるほうが体にもいいはずだと思ってきました。」
大掛かりなことではできなくても、日常のちよつとした心がけがエコにつながり、それが社会全体の当たり前となるのが望ましいと、省エネ意識がますます高まったようです。

「中央エコアクトのデイリーチェック表に「産地の近いものを買う」という項目がありますが、それに加えて「旬の物を食べよう」と心がけるようになりました。ハウス栽培や流通にかかるコストを考えると、たとえば冬に無理して夏野菜を摂らなくてもいいんじゃないか、身近な旬の食材をおいしく食べるほうが体にもいいはずだと思ってきました。」
大掛かりなことではできなくても、日常のちよつとした心がけがエコにつながり、それが社会全体の当たり前となるのが望ましいと、省エネ意識がますます高まったようです。



▲デイリーチェック表

公園・花壇ボランティア

緑のアダプト制度

浜町公園 中央区バードウォッチングクラブ

緑のアダプト制度とは

中央区在住・在勤者を対象として、公園内の一部や花咲く街角の花壇などの管理のお手伝いをしていただく制度です。

今回は、浜町公園のビオトープの管理をしている「中央区バードウォッチングクラブ」の方々に訪問しまし



▲石川さん

■自然を再現して、身近なところに野鳥を呼ぼう。

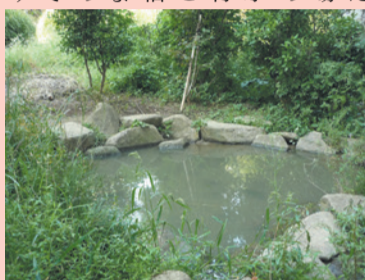
中央区バードウォッチングクラブのビオトープの活動は4年前、中央区で整備したビオトープに、昆虫や野鳥がくることを目標に始められました。

バードウォッチングクラブの石川さんを中心に、当初は男性4名、女性1名の5名で始め、1年もたないうちに人数も増えていきました。

「最初は毎週行っていました。現在は第1・3土曜日午後2時頃から活動しています。初めは道具も前から用意しました。基本的なことから見直して、池を掘り返してきれいにする、周りの雑草取りや、昆虫や蝶のため食草や樹木を植えたりしています。自然の生き物が棲みやすい風通しの良い場所を作っていました」と思っています。

その他

め、夏場は毎日のように水やりを行います。休みの日などは家族連れや子どもたちが友達と一緒にビオトープを訪れ、興味深げに蝶や虫を見ている様子。とうれしそうに話されていました。



■続けていくことで、次の世代に、命の大切さ、自然の素晴らしさを伝えたい。

「活動をすることで、昆虫・野鳥・草花の共生のために色々と学びました。人にとっては雑草に見えるものでも、昆虫にとっては食草であったり、樹木に寄つて来る蝶や昆虫などが違つたりします。次世代のために伝えたいことや行いたいことはたくさんあります。」

「こうした土や自然に触れ合える機会を頂き感謝しています。自分たちで育てている成果が感じられるのが喜びです。」と、メンバーの久保田さんが語られました。

●問合せ先

水とみどりの課 緑化推進係
☎(3546)5434

「お米を作りました」

一. 田植え

平成25年5月16日、晴海トリトンスクエア サウストリトンパークおよび晴海第三公園において、晴海連合町会、株式会社晴海コーポレーションの協力のもと、月島第三小学校の児童(5年生54名)が田植えを行いました。

田植えをする前の事前準備として、縦2m×横1m×深さ30cmのプランターに粘土を入れ、耕しながら元肥となる肥料(堆肥)をばらまき、土壌にすぎ込みました。また、水位を自動で調整できる調水器を各プランターに取り付けました。

今回植え付けた苗は、コシヒカリと初星(はつぼし)を両親として、平成3年に誕生した「ひとめぼれ」です。味とかおりが良く、ねばりが強いお米です。

苗を3〜5本くらいにまとめ、指でやさしく持ち、となりの苗と15cmぐらいの間隔をあけ、約5cmの深さに植えます。その後、稲を植え付けたプランターの中へボウフラ(蚊)の発生を抑制するため、児童にメダカを放流してもらいました。

二. 生育

田植えのあと、苗から新しい根が出るまでは5日から1週間くらいかかります。植え付け直後は、新しい根が出るのを助けるため、しばらくの間は、田んぼの水をやや深め(5cm程度)にして、寒さや風から苗を守ります。その後、高温が続く時期などは水位を1cm〜2cmほどにするなどこまめに水位の調整を行いました。

6月下旬 稲の葉先が少し枯れる症状が観察されました。対策として水位を一時的に低くし、土の中に酸素を供給した上で、根の活力を回復させました。

7月中旬 水位を調整した結果、稲の株から白く細い根が地表に現れるようになり、葉先も健全な状態に回復するようになりました。更なる

成長を促すため、有機系の肥料(油粕)を追加しました。

7月下旬 稲は順調に生育し、苗は10〜15本程に枝分かれするようになりました。

8月上旬 2回目の追肥を行いました。多数の穂が出てきました。

8月中旬 スズメから稲を守るため、プランター全面を覆うようにネットを設置しました。

9月初旬 稲の生育は順調で、稲穂全体の7、8割が垂れ下がりました。

9月中旬 台風18号が日本列島を縦断し、晴海地区も強風や大雨になりましたが稲は無事でした。

三. 稲刈り

9月25日、田植えをした月島第三小学校の児童が稲刈りを行いました。1束毎に玉縄で縛り、用意したはせ掛けの竿に稲を吊るし、約1〜2週間天日干しにします。乾燥するまでしっかりと干しますが、目安としてはワラが薄茶色になるまで乾かします。

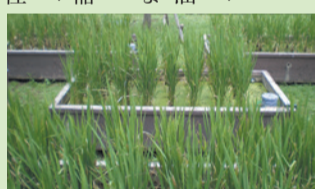
四. 脱穀・精米

干し終えた稲を収集し、脱穀↓籾摺り(もみすり)↓玄米↓精米の工程を経て、お米に仕上げ、小学校に届けました。

今回はプランターでのお米作りでしたが、将来は実際にある土を掘り返して、水田を作り、お米が作れたらと構想は膨らみます。

●問合せ先

水とみどりの課 緑化推進係
☎(3546)5434



環境作品コンクール

入選者のお知らせ

中央区では、区内小・中学校の児童・生徒の皆さんに、環境について関心を深めてもらうことを目的に「環境作品コンクール」を実施しています。今年度は、標語1,077点、ポスター1,175点の応募がありました。

審査の結果、次の方が最優秀・優秀作品として入賞しました。おめでとうございます。

なお、これらの作品は、環境カレンダーや環境月間ポスターなどに活用していきます。

入選者(敬称略)

標語部門

最優秀作品(2名)

久松小 1年 森田 絢子

銀座中 3年 松村 由聖

優秀作品(5名)

京橋築地小1年 中川 駿

阪本小 1年 山下 朗南

阪本小 2年 川瀬 奨真

豊海小 2年 楠 弥生

日本橋中 2年 大瀧 知佳

ポスター部門

最優秀作品(2名)

久松小 6年 若松 すみれ

日本橋中 2年 鴨下 映介

優秀作品(8名)

京橋築地小1年 上村 花笑

久松小 1年 春本 想輔

豊海小 1年 福本 寧々花

泰明小 3年 笹村 初音

城東小 4年 茂木 福京

常盤小 5年 田中 舜也

有馬小 5年 大塚 秀蔵

晴海中 2年 飯田 麻衣

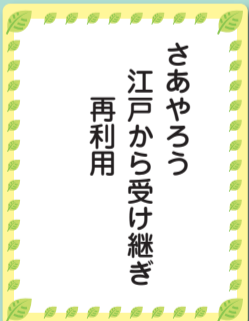
また、佳作として、標語部門で小学生22名、中学生11名、ポスター部門で小学生43名、中学生7名が入選しました。

●問合せ先

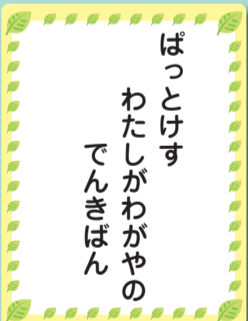
環境推進課 環境活動係
☎(3546)5403



(小学生の部 最優秀賞) 久松小学校6年 若松 すみれさんの作品



(中学生の部 最優秀賞) 銀座中学校3年 松村 由聖さんの作品



(小学生の部 最優秀賞) 久松小学校1年 森田 絢子さんの作品



(中学生の部 最優秀賞) 日本橋中学校2年 鴨下 映介さんの作品



「緑化のパンフレットを作成しました」

区では、花と緑に囲まれた健康で快適な生活環境の確保、また区内の緑の総量を増やすため、民間施設の緑化を推進しています。また、民間施設の緑化に必要な経費の一部を助成する制度を設けています。

(助成対象)

・新たに緑化する地上部や屋上・壁面の緑化事業(上限200万円まで)

・幹回り120cm以上の樹木の保護育成(1本1万円、上限10万円まで)

※区で定めた基準を満たしていることが条件です。詳しくはお問合せください。



このたび、緑化普及啓発用のパンフレット「緑化助成の手引き～みんなで緑を増やそう～」を作成しました。区内民間施設の緑化の好事例や助成制度などを紹介しています。

区役所7階の窓口、各出張所等で配布していますので、ぜひご覧ください。

●問合せ先 水とみどりの課 緑化推進係 ☎(3546)5629

月島第二児童公園フリーマーケットを開催しました



家庭で不用になった衣類や雑貨などの再利用(リユース)を促進するため、9月28日(土)に月島第二児童公園でフリーマーケットを開催しました。今年も、天候に恵まれた中、午前10時から午後3時まで、終日家族連れなど多くの人でにぎわいました。

会場には66の店舗が並び、衣類、アクセサリ、雑貨、ぬいぐるみ、おもちゃなどさまざまな品物が販売され、また、粗大ごみの中からまだ使えるものを修理し、抽選のうえ無料で提供する「ごみの中からこんなもの展」も大人気で、抽選時には、結果を心待ちにする人たちがにぎわい、歓喜と落胆の声が飛び交いました。

フリーマーケットを通じて、ご出店いただいた方にもご来場いただいた方にも、楽しみながら「リユース」していただけたと思います。今年度はもう開催予定はありませんが、今後、開催する際には区のお知らせなどでお知らせしていきます。



今後とも、3R(リデュース、リユース、リサイクル)推進に、ご協力をお願いします。

●問合せ先 環境推進課 環境活動係 ☎(3546)9592

環境の分野でご活躍されている方々に感謝状を贈呈

日頃から地域での資源回収や清掃活動にご尽力いただいている方および団体、ならびに事業系一般廃棄物の再利用等に積極的に取り組んでいる区内の事業所に対して、12月10日(火)に感謝状を贈呈しました。

贈呈式の後は「～江戸前の海を取り戻せ!～ みんなで良くする東京湾」と題して、NPO法人 海辺つくり研究会 理事 木村尚氏による環境講演会を開催し、多くの方にご参加いただきました。

受賞された方および団体は以下のとおりです。(敬称略)

①リサイクル活動団体(3団体) ●新川二丁目越一婦人会 ●東日本橋二丁目町会 ●晴海幼稚園PTA	②地域クリーン活動ボランティア(4人) ●武田 章 ●桑原 孝 ●田中 おきの ●田中 暁良
③地域クリーン活動団体(3団体) ●大伝馬町一丁目町会 ●堀留町一丁目町会 ●ファミリークラブ	④事業用大規模建築物所有者等(2事業者) ●株式会社電通テック ●柳屋ビルディング株式会社

●問合せ先 ①④中央清掃事務所清掃事業係 ☎(3562)1523
②③環境推進課環境活動係 ☎(3546)5403
環境講演会 環境推進課環境活動係 ☎(3546)5654

第10回目を迎えました! 「子どもとためす環境まつり」



11月2日(土)、月島第三小学校にて「子どもとためす環境まつり」が開催されました。中央区環境保全ネットワーク主催のこのイベントは、地域の皆さまをはじめ、企業や団体、学生たちの協力を得て、未来を担う子どもたちに「環境への気づき」

を促す体験学習の場を提供するものです。10回目を迎えた今年も、41もの企業・団体が参加。メイン会場となった体育館の入り口には、中央区環境保全ネットワークによる「子どもとためす環境まつり」10年の歩みの展示パネルと「蜜蝋キャンドル作り」のブースがあり、多くの方が足を止めておられました。他にも中央区のブースを始め、19団体それぞれの特性を生かしたブースが体育館内に立ち並び、子どもから大人まで楽しむ様子うかがえました。



また、屋内だけでなく屋外出展にも活気があふれ、「白バイ展示」や「究極の工



コー“人力車”に乗ってみよう」のコーナーでは、普段触れることのない乗り物を体験でき、訪れた方々には笑顔が絶えませんでした。

第5回目より始まった、子どもたちがブースのお手伝いをする「サーモンプロジェクト」の活動も、今やすっかりおなじみになっています。大人と子どもが同じスタッフとして活動を共にすることで、大切なコミュニケーションがしっかりと育まれたに違いありません。



参加者はスタンプラリーマップを手に会場いっぱい設けられたブースをひとつひとつまわり、スタッフの説明に耳を傾け、自ら体験することで、環境に対する意識を高められたことでしょう。

●問合せ先 環境推進課 環境活動係 ☎(3546)9592

ごみ・資源のふれあい収集のお知らせ

ごみや資源を自分で出せない高齢者などに対して、職員が玄関先まで訪問して収集する「ふれあい収集」を実施しています。

その際、ご要望に応じて声かけなどの安否確認も行います。

利用できる方

・ごみや資源を自分で集積所に運び出すことが困難で、身近な人の協力を得ることができない障害のある方や65歳以上の高齢者のみの世帯。

利用にあたっては事前の申込みが必要です。詳しくは中央清掃事務所までお問合せください。

●問合せ先 中央清掃事務所作業係 ☎(3562)1521

プラスチック製容器包装 このマークが目印です⇒



プラスチック製容器包装とは、商品を入れたり、包んだりするために使われているプラスチック製の「容器」や「包装」などのことをいいます。

こんなものは出せません!

・プラマークが無いもの、プラマークがあっても汚れているものは出せません。→燃やすごみの日に出してください。

・プラスチックで出来ているものでも金属類などが一体化して取れないものは→燃やさないごみの日に出してください。

限りある資源を有効に活用するため、分別にご協力をお願いします。

●問合せ先 中央清掃事務所清掃事業係 ☎(3562)1523